

平成28年度 特別養護老人ホーム 土肥ホーム 事業報告

1. 概況報告

依然として地域における高齢者率の占める割合は増加傾向にあるが、高齢者人口は年々減少傾向にあることが顕著に伺える一年であった。

特に各サービスの対象実人員は相対的に減少傾向にある中で、土肥ホーム施設サービスは、特養待機者が減少傾向にあることや、特養利用者のより安定した生活を継続維持するために、看介護の連携をより深め、特養利用者の高齢化・重度化にも対応可能な介護技術の向上と看護ケアの充実を図った。しかし地域的な医療過疎の問題や緊急時の対応など医療的ケアを必要とする対応が多く、今後は医療・看護・介護の更なる連携強化について今後の課題を残すものとなった。またショートステイにおいても、安定運営確保のため、サービス地域を広げた展開を行い、特養空きベッドを含めた効率的な稼働運営を行った。



在宅サービスでは、入院や施設利用等の急増により、稼働減少の影響を受ける一方、職員配置や加算条件を見直し、変動に対応した。総合事業においては、移行から2年を経過し、対象利用者、サービス提供ともに定着しつつある。土肥地区における地域包括ケアシステム構築に向けて、地域住民活動や総合事業の促進・関係機関との連携強化など、受託した包括支援センターを中心に、今後も引き続き取り組む。

土肥ホーム自主事業である、地域の高齢者を対象としたオリジナル弁当の配達事業も食の確保が困難な地域において、欠かすことのできない事業となってきた。

また、従来から深刻な課題であった地域における職員の人材不足の問題では配置基準で求められる専門職の不足のみならず調理員等の間接業務を行う職員も採用困難であったが、地域で就労意欲のある高齢層の雇用促進の成果により、一部解消することができた。

しかし、依然ながら介護人材は不足傾向にあるため、資格取得のための教育の機会や働きながら資格取得について育成するなど人材確保と育成の対策を講じることが今後の課題である。

施設建築から24年を経過し、老朽化設備について中長期計画に基づいた建物修繕として、エアコン設備、入居スペースのトイレを改修し、特養利用者の住環境の改善を図った。また、国の防犯対策強化設備補助をうけ、防犯カメラ設備を設置し、施設の防犯対策を強化した。

(1) 各事業

①特養（介護老人福祉施設）

利用者の変化に気づく為に、看介護の連携を密にし、健康管理を行い早期対応に努めた。また、今期の感染症の発症により感染対策の見直しを実施した。今後は、医療機関との連携も更なる課題となった。また、新たな部会を立ち上げた事により利用者の生活の質の向上に繋がった。効率的な業務の実践の為、ユニットを超えた職員体制を構築することができた。

②ショートステイ

他事業所との連携により、新規利用者の確保と多様ニーズの受け入れ体制がとれた。定期利用者に対しては、報告書を家族との連絡ツールとし情報共有ができた。レクリエーション担当を中心に職員の意識付けを図り、余暇活動が充実する事ができた。

③デイサービス

個別ケア充実の為、ケアマネ、家族との連携を密にし、ニーズに沿ったサービス提供が出来るように繋げた。充実した生活を応援する為の提供方法について、内部研修等で検討し職員の共有を図り実践に向けた取り組みを目指した。

④ホームヘルプサービス

訪問介護計画をより具体的にすることによりサービスの統一化を進めた。各部署との連携により個々の情報を共有できた。そのため必要なニーズを発掘できサービスに繋げることができた。

内部研修でも情報共有を密にし、個別ケアの充実に向けたサービス提供ができた。

⑤居宅介護支援事業

利用者個々の理解を深める為、課題整理総括表の活用に取り組んだ。多職種連携に重点を置き、担当者会議の開催・サービス事業所との連携を強化する事により、ニーズに沿った支援に繋げた。毎週の定期的な会議により、地域の情報を共有でき、地域資源の現状把握ができた。

⑥地域包括支援センター

地域包括ケアシステム構築にむけて、地域活動の啓発・促進に積極的に取り組む。そういった活動を通し、住民主体の自主活動が各地区に定着した。今後、これまでの個別ケア会議で明確になった地域課題に対し、住民の協力により課題解決に向けた協議体開催を目指す。

⑦グループホーム

利用者全体の身体状態の重度化が続いている現状に合わせて、スタッフが研修へ参加し新しい介護用品の導入と、持ち上げない介護技術を導入することができた。又、記録用紙を見直し記録にかかっていた時間を短縮することでスタッフの負担を軽減することができた。

(2) 運営管理

①事務管理

業務の遂行が経営目的に沿って達成されるよう常に経営管理をし、突発的な修繕、老朽化資産の更新に備えた積立金を、計画的に作成した。防犯対策として、伊豆市の助成をうけ防犯カメラ4台を各所に設置した。昨年に引続き中長期計画に則った、アメニティ環境の改善を目的とした第2期トイレ改修工事を行った。事務管理と労務部門は更なる強化を図り、集中管理化を進めた。

②医務・衛生管理

利用者の健康で安心した生活を目指し、臨床データを共有し看護・介護・他職種間で必要なケアの提供に心がけ利用者の健康維持に努めた。後期の感染症発症においてもマニュアル具体的行為の見直す機会となり、医療機関への更なる連携強化が必要となった。

③食事サービス

多職種の連携のもと、栄養ケアマネジメントの実施により、利用者の健康状態の改善に努めた。食事形態の調整・療養食等の提案・検討を重ね、提供することができた。また、利用者の体重の増減状態を把握し栄養士と連携を図り、日々の食事の調整が行われている。

今後も個別対応も含め、安心して安全な食事提供に努める。

④防災委員会

事業継続計画を策定し、土肥ホームの実情に合わせ修正を行った。また、職場調整会議にて内容の更なる検討を行い、平成29年度からの実施に至った。今後は、土砂災害・風水害の避難計画についても既存の計画を見直し、修正を行っていく。出来た計画については、日々の防災訓練にて周知を行っていく。

⑤リスクマネジメント委員会

書式やヒヤリハット集計方法について課題を明確にし、より活動がしやすい方法につながるよう再検討。検討を重ね新たな仕組み等を試し、集計・分析・傾向と対策が、一連の作業として部署で行うことができるよう、今後仕組み変更を行うことに繋げた。

⑥研修委員会

職員アンケートから要望が多かった「高齢者の病気や怪我に対する対処方法」と「認知症高齢者の対応」について、外部講師を招き全体研修を実施した。今年度の企画は実技や実体験を交えての内容であったため、多職種参加職員個々のニーズに適応できる研修会を開催することができた。

2. 施設概要

平成29年3月31日現在

名称	特別養護老人ホーム 土肥ホーム
事業内容	第1種社会福祉事業 ※特別養護老人ホーム 定員 50人 第2種社会福祉事業 ※在宅老人短期入所事業 定員 11人 ※通所介護事業 一般型 定員 35人 ※訪問介護事業 ※認知症対応型共同生活介護事業 定員 18人 ※認知症対応型共同生活介護（短期利用型） ※第1号通所事業（介護予防現行相当） ※第1号訪問事業（介護予防現行相当）
その他の事業	※居宅介護支援事業 ※第1号通所事業（サービスA） ※第1号訪問事業（サービスA） 地域包括支援センター（伊豆市土肥支所内設置） 「食」の自立支援事業 身体障害者居宅介護等事業 移動支援事業 生活管理指導短期宿泊事業 生活管理指導員派遣事業 軽度生活援助事業 オリジナル弁当サービス（自主事業） 健康増進教室（自主事業） （※印は介護保険指定事業）
所在地	静岡県伊豆市小土肥787-2
敷地面積	5,179.79㎡
建物規模構造	特養 鉄筋コンクリート造3階建 3,093.17㎡ 地域交流室 木造2階建 164.16㎡ グループホーム 鉄骨コンクリート造2階建 567.41㎡
運営開始日	特養 平成5年4月1日 グループホーム 平成23年4月1日

居室タイプ別床数

特養（ショート含む）

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階					0
2階	4	1	4	9	54
3階	7				7
合計室数	11	1	4	9	61

グループホーム

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階	9				9
2階	9				9
合計室数	18	0	0	0	18

3. 施設整備状況

年 月 日	物 件 名	数量	目 的 ・ 用 途
平成28年4月1日	テレタイム増設	1	新勤怠システム（クロノス）導入による整備
平成28年5月21日	スズキワゴンR 伊豆580こ740	1	利用者送迎車両 老朽化による更新
平成28年5月27日	VPNルーター	1	ネットワーク環境の整備 老朽化による更新
平成28年6月29日	アサヒスーパープレnder	1	利用者の食事形態対応 破損による買替
平成28年7月29日	特養西側トイレ改修工事	1	利用者住環境整備 老朽化による整備
平成28年8月9日	PHSアンテナ取替工事	1	ナースコール対応 老朽化による更新
平成28年8月30日	特養居室エアコン更新工事	2	利用者住環境整備 エアコン不具合による更新
平成28年9月3日	新館エアコン室外機交換工事	1	利用者住環境整備 室外機不具合による更新
平成28年10月12日	AED自動体外式除細動器	1	緊急時対応 レンタル期間満了による新規購入
平成28年11月21日	利用者居室トイレ便座・洗面所水漏れ工事	1	利用者住環境整備 老朽化による整備
平成29年2月20日	塩害被害腐食防止工事	1	EV室防火扉・屋上出入口扉・プロパン庫屋根・車庫屋根・車庫柱

4. 施設の開放状況（施設の開放）

開 放 先	内 容	回 数
伊豆市特養連絡協議会	伊豆市特養連絡協議会 会議開催等	1

5. 職員派遣状況

派 遣 先	派 遣 者	内 容	回数
静岡県介護支援専門員協会	花沢恵子	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ等演習指導者	2
静岡県介護支援専門員協会	黒川正樹	中部支部研修シンポジスト	1
静岡県介護支援専門員協会	黒川正樹	介護支援専門員専門研修Ⅰ及び更新研修BⅠ講師・演習指導者	6
シニアクラブ静岡県	黒川正樹	単位シニアクラブ新任会長研修講師	1
伊豆市	花沢恵子	伊豆市在宅医療連携推進協議会委員	3
静岡県介護支援専門員協会	花沢恵子	静岡県介護支援専門員協会東部支部会議	2
静岡県	黒川正樹	主任介護支援専門員更新研修指導者検討会	1
静岡県	黒川正樹	主任介護支援専門員更新研修講師	1
社会福祉法人信愛会介護職員初任者研修	黒川正樹・鈴木かよ子	介護職員初任者研修講師	1

6. 施設の開放状況（ボランティアの受入れ状況）

団 体 名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
土肥ホーム清掃ボランティア	79	3	276
土肥地区民生児童委員協議会	1	21	21
伊豆市土肥地区赤十字奉仕団	1	3	3

7. 研修受入れ状況

受入れ事業所	受入れ団体名	内 容	受入れ人数
土肥ホーム	静岡県東部特別支援学校松崎分校	職場実習	1
土肥ホーム	日本大学国際関係学部	高齢者介護等の体験実習	1
土肥ホーム	土肥高等学校	バイオセラピー	10
土肥ホーム	土肥中学校（2年生）	職場体験	22
土肥ホーム	土肥中学校（1年生）	福祉体験	8
土肥ホーム	土肥小学校（5年生）	交流研修	18
土肥ホーム	土肥小学校（4年生）	交流研修	13
土肥ホーム	伊豆市	訪問型サービスA事業従事者養成研修	1

8. 特別養護老人ホーム利用状況

(1) 入所状況 (定員: 50人)

(4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
50	6	6	50	17,805	48.8	412	42

(2) 介護度別入所者数

(4月1日～3月31日)

区 分	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	計	平均介護度
男	31	12	24	0	24	91	3.3
女	128	181	96	89	21	515	3.6
計	159	193	120	89	45	606	3.5

9. 在宅サービス利用状況

(1) ショートステイ 利用状況 (定員: 11人)

(4月1日～3月31日)

区 分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	286	1156	1075	1036	726	4279	10	57	67	4346

(2) デイサービス一般型 利用状況 (定員: 35人)

(4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	事業 対象者	生きがい	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	23	45	91	201	218	141	57	107	0	35	918
利用者延人数	107	351	833	1809	1822	1049	218	388	0	142	6719
開 所 日 数	310	310	310	310	310	310	310	310	0	310	
一 日 平 均	0.3	1.1	2.7	5.8	5.9	3	1	1	0	0.4	21.6

(3) ホームヘルプサービス 利用状況

(4月1日～3月31日)

区 分	身体介護		生活援助		身体生活		小計		予防(総合事業含む)		合計	
	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間
介護保険	1804	1088:40:00	953	927:40:00	740	719:05:00	3497	2735:25:00	2046	1970:35:00	5543	4706:00:00
委託事業	5	4:45:00					5	4:45:00			5	4:45:00
障 害	7	10:20:00	530	648:40:00			537	659:00:00			537	659:00:00
自 費	82	53:50:00	17	15:05:00			99	68:55:00			99	68:55:00
計	1898	1157:35:00	1500	1591:25:00	740	719:05:00	4138	3468:05:00	2046	1970:35:00	6184	5438:40:00

10. グループホーム 利用状況

(1) 入居状況 (定員: 18人)

(4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
18	4	4	18	6,462	17.7	85	0

(2) 介護度別入居者数 (年間延べ)

(4月1日～3月31日)

区 分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	21	44	34	91	30	220		0	0	220

11. 居宅介護支援事業給付管理状況

(4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画件数	124	123	126	129	125	126	132	127	124	117	114	111	1478
予防プラン受託件数(総合事業含む)	6	6	6	9	9	9	9	20	20	21	23	25	163

12. 地域包括支援センター実績状況 (マネジメント業務)

(4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	41	35	40	41	39	39	38	43	43	45	44	45	493
介護予防支援(委託)	5	4	5	6	7	6	7	18	17	18	19	18	130
介護予防マネジメント	48	48	49	50	45	45	47	46	43	45	44	41	551
介護予防マネジメント(委託)	5	5	6	7	6	6	6	7	8	8	9	9	82

13. 地域包括支援センター実績状況 (相談業務等)

(4月1日～3月31日)

相談件数・内容

内 容	件 数
介護相談	1476
地域支援事業	706
介護(要支援)	2009
介護(要介護)	46
虐待(疑いも含む)	51
その他	475

権利擁護に関する活動

内 容	件 数
成年後見人制度	0
消費者被害	0
困難事例	156
権利擁護	56
日常生活自立支援事業	8
その他	1

開催実績

開 催 実 績	人 数
土肥・天城地区合同事例検討会(年2回)	46
土肥圏域 地域ネットワーク会議(年2回)	60
排泄ケア講習会(年1回)	28
家族介護者教室(年2回)	34
ロコトレOB会(年61回)	723
認知症サポーター養成講座(年2回)	28
認知症サポーターフォローアップ講座(年1回)	8
地域ケア(個別ケース)会議(年5回)	57
ケア会議勉強会(年1回)	19

14. 配食サービス 利用状況

(4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
延 食 数	5	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
オリジナル利用実人数(自主事業)	29	29	28	28	24	27	28	28	28	27	28	29	333
延 食 数	436	457	442	426	419	444	439	445	411	368	383	457	5127

15. 事故・苦情報告

(4月1日～3月31日)

区 分	特養	ショート	デイ一般	デイ認知	ホームヘルプ	Gホーム	小規模	ケアハウス	居宅支援	包括	配食	合計
事 故	5	2	0		1	1			0	0	0	9
苦 情	0	1	0		1	0			0	0	0	2